

# みのり NEWS

外部向け情報誌

生活介護・就労B型&グループホームの情報誌

2022  
6/7

6・7月号

社会福祉法人みのり福祉会  
令和4年5月31日発行

【発行】社会福祉法人みのり福祉会  
多機能型支援施設みのり・グループホーム

<本部>

〒350-1305

埼玉県狭山市入間川 3273-23

TEL: 04-2954-8566

FAX: 04-2954-2646

e-mail: t-minori@bell.ocn.ne.jp

HP: <http://www.minori-fukushi.or.jp/>

ホームページはこちらから！  
ブログも随時更新中！



## あおぞらいちば 【戦争を知らない子供たち】

戦争が“今”おきています。

戦争を知らない子供たちという歌をジローズが1971年に歌い、私は“今”聴いています。

「僕らの名前を覚えてほしい 戦争を知らない子供たちさ」髪を伸ばし 青空が好きで 花が好きで 当時ヒッピーといわれたなりをして 高らかに謳っていました。

あれから、50年経った“今”戦争を知っている子供がいます。

戦争を知らない子供たちであふれかえる世界を創造するために必要なことは何でしょうか、その当時、敗戦やベトナム戦争を経て、戦争を知らない子供たちがあふれる社会を想像していた人たちに対し、この歌を聴くと、私たちは裏切っているような気持ちになります。

私たちは、憲法9条で武力行使は永久に放棄する、となっていますが、集団的自衛権の解釈や敵国に対する脅威による専守防衛の拡大解釈など、戦う方向に舵を切らざるを得ない風潮があります。

戦争を知らない子供たちは、戦わないことを選択し、戦わないことを主義とし、戦わないことを貫く覚悟で髪を伸ばし、謳ってきたと考えています。

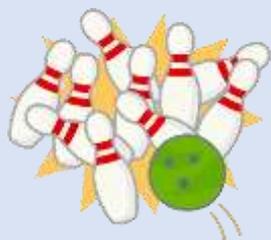
前回「合理的配慮」について書きましたが、“配慮”さえあれば戦う必要はなく、また、戦わないための必殺技は“配慮”ではないでしょうか。髪を伸ばす自己表現に対し、髪を切れという自己表現、9条の基、戦わないという自己表現に対する専守防衛力という自己表現、どちらもあることが必然であり、そこに“配慮”さえあれば、きっと着陸できる地点があり、そこに破壊があるわけではないのです。何故ならば、どちらも“自国の平和”を目指すための考え方であり「自国の平和があれば他国の平和がある」ことが必然で配慮すべき事項です。

私たちの仕事を振り返っても、利用者一人に対する支援について、本人の思い、家族の思い、支援者の思いに対し、互いに自己表現をし、配慮をし、その人ひとりの支援を創造していきたいと思えます。

理事長 坂本光雄

## ボウリング大会にみのり福祉会が出店しました

NHK杯第55回全日本選抜ボウリング選手権大会が市内の新狭山グランドボウルで開催され、13日(金)は会場内にみのり福祉会が出店しました。多機能みのりとしては、久しぶりの外部販売でした。テント設営や販売に参加された皆さん、お疲れさまでした！



# 入所式を行いました



あべ みなさん ましま ずぶる さん  
阿部 未奈さん 馬島 昂さん

おめでとうございます!



新年度が始まり、多機能みのりに新たに二名の利用者さんが入所されました。今年度は4月28日(木)に入所式が執り行われました。先輩利用者さんが見守る中、注目の集まったお二人はとても緊張した様子でしたが、式の終了後は記念写真を撮ることができました。新しい環境での生活は大変かと思いますが、これから一緒に楽しく過ごしていきましょう♪阿部さん、馬島さん、ご入所おめでとうございます。

## 創作作品の紹介

「しずく」 生活介護こもれば班



利用者さんが色紙を細かくちぎり  
雨のしずくの型に貼り付けを行いました。

はじめめる時期ですが  
きれいな色が並んで  
気持ちも晴れやかになりますね♪

## 令和4年度広報委員の紹介



柳井

福島

土肥

広報委員では、本広報誌をはじめホームページやパンフレット作成等を行っています。

今年度はより良い広報活動に向けて、外部の方へも広く情報発信して参ります。よろしくお願いいたします。

次月号(8・9月号)は7月29日(金)に発行予定です。

福島